

令和6年能登半島地震被災者・支援者証言収集事業



目的

被災者等から証言を収集し、被災の経験から得た教訓・ノウハウ等を、
今後の**防災対策や防災教育等**に役立てる
(地震発生時、それぞれの立場・状況で、どのように判断し、行動したのか)



石川県

せっかく活動するのであれば、
能登の**関係人口の拡大**につなげるとともに、地震の**記憶を次世代に継承**したい

活動主体 大学生

内容

珠洲市からの申し出もあり、**金大の協力**のもと、令和6年度に**試験的**に実施
※対象者:33名(区長、警察、消防、学生等)

<スキーム>

	珠洲市	石川県	金沢大学
準備	・対象者の選定、協力依頼 ・撮影日時・場所の段取り	・経費負担、業務委託 ・対象者選定(高校生) ・市(立会)、金大(活動日時)との調整	・活動候補日時の提示
実施	・立会 ・撮影補助	・立会 ・撮影補助	・インタビュー(学生) ・撮影、補助(随行教員) ・証言の要約
公開	・未定	・公開用に編集・加工 ・HP公開	・論文等に活用

<実施風景>



収集時間:約1時間／撮影:動画(定点)

立会者(市or県)

撮影、補助
(随行教員)

インタビュー
(大学生)

対象者は、インタビューの途中でフラッシュバックする可能性があり、慎重かつ丁寧な対応が求められるため、
インタビューは、学生単独では行わない。

事前に珠洲市から、
・対象者の立場
・証言して欲しいテーマ
などを聞いて、
インタビュー実施

R6年度 活動実績(HP掲載)



<https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp/story/>

企業・団体

2人で立ち上げた災害対策本部と過酷な業務

珠洲市総合病院 内科医長・出島彰宏さん、副総看護師長・舟木優子さん、薬剤師・中野貴義さん



体验内容 少人数での災害対策本部の設置や発災直後から過酷な業務にあたった

場所 珠洲市

聞き取り日 2024年11月29日

映像二次利用 不可

体验を語る 珠洲市立総合病院
出島彰宏さん 舟木優子さん 中野貴義さん



施設被害と断水時の対応

聞き手 施設の被害状況について教えてください。

出島さん 病院の3階のガラスが1か所割れ、外壁に亀裂が入り、地盤沈下による陥没など、建物(躯体)は部分的に損壊しました。また、機材関係は壊れて使えなくなることはなかったのですが、市水を受ける貯水タンクと配管が損傷し、修繕が終わるまでの間、最大貯水量が25%減となりました。

医療機器の中には、水を使わないと使用できない機器がいくつもあり、例えば透析機械が使えないなど、臨床検査といって血液の生化学検査が行えなかったりと、医療行為を行う上で、断水の影響が一番大きかったです。医療機器に破損はなかったのですが、安定した水の供給がなされるまでの間、しばらく医療機器が使えないといった点が混乱の原因になったと思います。



令和7年度 活動案 1/3



R6年度の取り組みを踏まえて、R7年度は、**証言収集を望む市町**と連携して活動

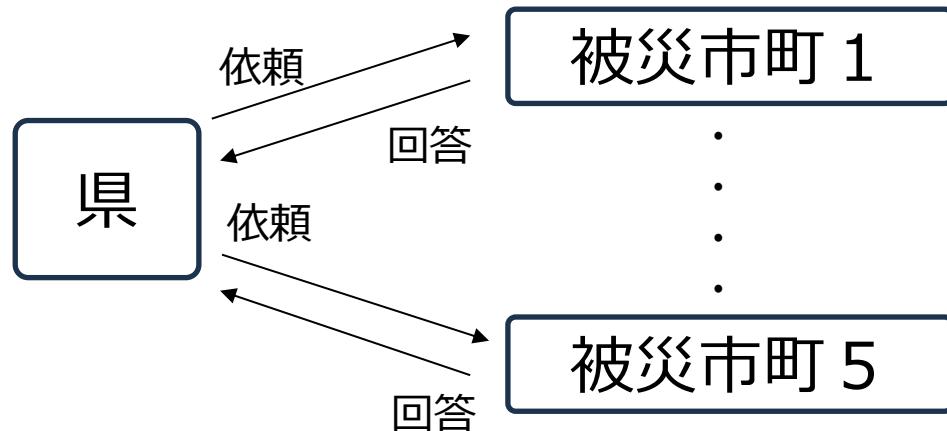
※七尾市、輪島市、志賀町、能登町、穴水町

R7.3~4月頃

1．証言者の選定

※市町が希望する対象人数を把握し、
実施計画に反映することが目的

- ・ 県が、「証言者の選定」を市町に依頼



- ・ 市町が、証言者を選定し、県に回答

→4月中旬段階

(輪島**18名**、七尾**7名**、志賀**15名**、穴水**10名**、能登**13名**)

「1」の後、R7.4~5月上旬頃

2．参加を希望する大学ゼミ募集

- ・ 大学コンソーシアムが募集
→R7.4月下旬に**第1回部会**で事業の再周知
- ・ 戦略広報課も、参加の可能性がある
大学ゼミに声掛け



令和7年度 活動案 2/3

「2」の後、R7.5～6月頃

3. 申込みのあった大学ゼミ選定

- 大学コンソーシアムが、参加申込みの
あったゼミを選定（非公開）
- 県、大学コンソーシアムが、選定した
大学ゼミ・学生を対象に、実施セミナー
を開催
→証言収集にあたっての注意事項など
(被災者との接し方等)

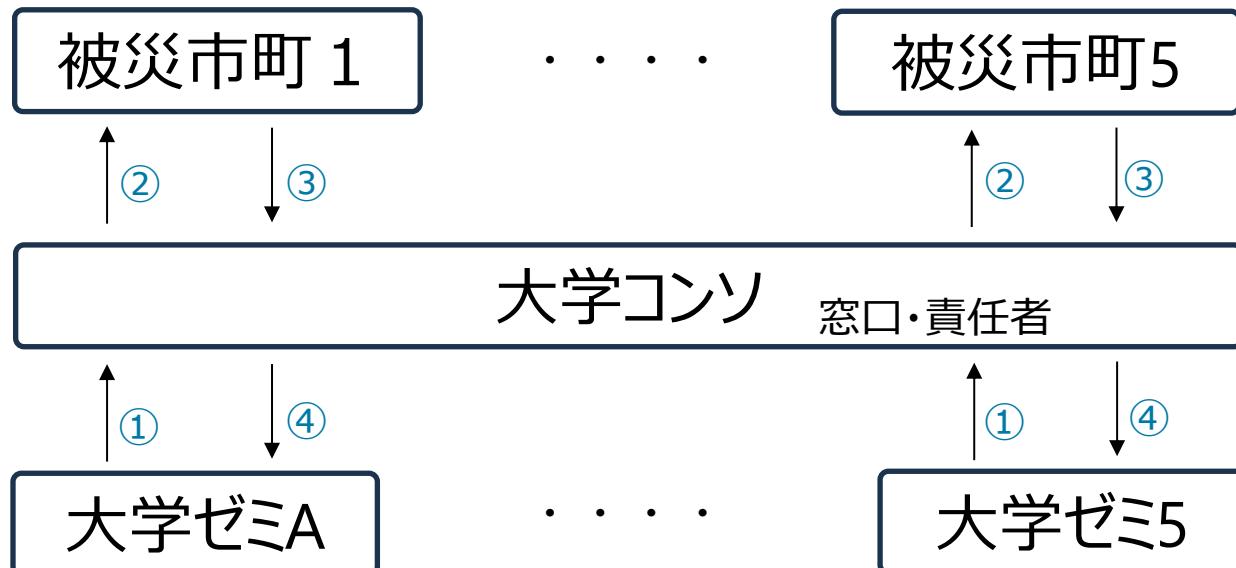
県も入り、やり取りについては、
適宜フォロー

R7.7月頃

4. 活動日時の調整

市町とのやり取りが発生するため、シンプルな連絡体制を構築 →日程変更、証言収集場所の変更等

- ①：活動可能な候補日時を提案
- ②：活動可能な候補日時を打診
- ③：対象者と調整した活動日時・場所の通知
- ④：活動日時・場所の通知





令和7年度 活動案 3/3

R7.8、9月頃を中心に活動

5. 証言収集活動

- 大学ゼミが活動
(基本、教職員 + 学生2名のチームで実施)
 学生が証言収集 (2名ほど)
 教職員が録画・録音
- 現場には、市町の担当者も立ち会い

R7.10、11月頃

6. 原稿作成

- 大学ゼミが活動の記録を元にホームページ
原稿を作成
 様式は石川県が指定したものを使用

R7.12月頃

7. 委託料精算

- 報告書・請求書の提出
 基本的に精算払い

【お問合せ】
公益社団法人大学コンソーシアム石川
地域連携専門部会
TEL 076-223-1633
Email kadai@ucon-i.jp